

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

源泉徴収税額が4年ぶりに増加

Q : 先日、国税庁が民間給与の実態調査結果を公表したそうですが、どのような内容になっていたのですか？

A : 平均給与は、男女とも減少しましたが、源泉徴収税額は、4年ぶりに増加したとのことです。

【解説】

国税庁では、民間給与の実態調査を昭和24年から実行しており、その結果を公表しています。

今回公表されたのは、平成16年分で、平成16年12月31日現在の正社員、契約社員、パートタイマー、アルバイトなどのデータです。

それによりますと、平成16年分の給与所得者数は5,271万人で昨年に比べ19万人増。平均給与は7年連続して減少しており約439万円、昨年に比べ5万1千円減。男性の平均給与は541万円で3万3千円減、女性は274万円で1万2千円の減となっています。

また、賞与は平均69万円で昨年に比べ1万4千円の減少で、男性が87.5万円で8千円減、女性が約38万円で1万2千円の減少となっています。

このように、給与は若干ながら減少していますが、源泉徴収税額については、3,060億円増加の8兆8,979億円となっています。

これは、税制改正で配偶者特別控除制度が改正され、控除対象配偶者にかかる配偶者控除に上乗せして適用される部分が廃止されたことが影響しているものと考えられます。

